

# YOGA WORKS



vol.7

## 瞑想状態をスムーズに深める ヨガワークスの「ヨガザフ」

品質や機能にこだわるだけでなく、できるかぎり製品の国内製造にも努め、日本の丁寧なもの作りをサポートする『ヨガワークス』。瞑想時に使用する座布「ヨガザフ」もその一つ。発売以来、多くの指導者達に支持される理由とは？

写真=樋口勇一郎/ヨガワークス 構成・文=長谷部美佐



集中力を高める  
確かな安定性

鮮やかな生地の色は、ヨガワークスが職人に頼んで染めてもらったオリジナル。どんなヨガスタジオにもなじみやすい、ピンクプラムとブルーラベンダーの2色を展開中。約35cm×35cm×16cm/約1.0kg 各¥5,600





Made in Japan



1: ヨガザフは綿を詰めるのも手作業。20分以上の時間をかけてカバーのすみずみまで詰めていく。2: 綿を詰め終わったら、丁寧に手縫いをして仕上げていく。3: 一つのヨガザフに、こんなに大量の落ち綿が「あん」として使われる。

伝統的な形状に  
フィット感をプラス

身一つあれば、いつでもどこでも内なる自分と向き合えるのが瞑想の魅力。でもそこに座布があれば、より体は安定し、精神は集中する。

「ヨガザフ」を考案したのは14年ほど前。それまでヨガで気軽に使える座布はほとんどなく、あっても海外製の大きなサイズのものが主流でした。もっと日本人の体形に合った使いやすい座布がほしいと思ったのが、開発のきっかけです」(ヨガワークス元ブランドマネージャー・伊澤加菜子さん/以下同)。

手本にしたのは禅寺の伝統的な座布。ただ、お寺で使われているものは丸みが強く、実際に座ってみると、ハリがありすぎてお尻が安定しないことが多々あった。「そこで着目したのが形状でした。座布の側面にギャザーをつけることで生地に余裕が生まれ、座った際に圧力がまんべんなく分散され、お尻をふんわりホールドすることができそうです。中身の「あん」にもこだわり、布団作りなどで廃棄されるはずだった

愛用歴7年 | 「私も手放せません」

ほぼ毎日、瞑想のクラスで使っています。ほどよい高さで腸脛靭帯(ちょうけいじんたい/太もも外側)やハムストリング(太もも裏)への負荷がなく、快適に使えるのが魅力。今や瞑想に不可欠な存在です。



ヨガ・瞑想ティーチャー中島正明先生

落ち綿をアップサイクルすることに。落ち綿は綿花100%。適度なコシで正しい姿勢をキープするのに最適です。座布の高さも日本人の体形に合わせて、脚や骨盤に負担の少ないほどよい高さに設定しました。快適な使用感を追求すれば、おのずと製造工程にも緻密さが要求される。そこで機械任せにするのではなく、国内の職人達の腕を借りることにした。「生地のカット、綿詰め、最後の手縫いまで、すべて熟練の職人さん達が丁寧に仕上げてくれています。座った瞬間の何とも言えない心地のよさは、大量生産では味わえないものがありますよ」

脚への負担を軽減する  
ほどよい高さ



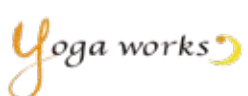
脚や骨盤への負荷が少ない、ストレスフリーな高さ(約16cm)を追求。また、側面にギャザーを施し生地に余裕を持たせることで、座った際の圧力が分散され下半身が安定。気を緩めた瞬間、お尻がころんと座面から外れる心配も少ない。

絶妙な弾力で  
お尻をしっかりサポート



ほどよいコシのある落ち綿を活用し、「あん」として贅沢に使用。硬すぎず、軟らかすぎず、適度に沈むため、使用直後から深い瞑想を快適にサポートしてくれる。使った後は、側面をパンパンと軽くたたけばふんわり感が蘇る。使いやすさ抜群!

Information



tel:0120-924-145  
www.yogaworks.co.jp



Follow us!  
@yogaworkscojp

